

ほっかいどうの社会保障

2015年6月9日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

介護制度改悪による被害を防ごう！

介護報酬引き上げ求める取り組みも開始

「報酬減で職員削りました」

介護に笑顔を！北海道連絡会は、1日、「介護報酬あてはめ」アンケート（最終報告）の結果を記者発表しました。4月からの介護報酬の大幅引き下げで、介護事業所の経営悪化や新たな処遇改善加算取得しても処遇はほとんど改善されない実態を明らかにしました。

小規模のサービス事業所の代表は「経営が厳しくなり、職員を1名削った（法人内の事業所へ転勤）。そのため業務がより大変になっている」と報酬の改善を訴えました。道内各地で事業所の廃業や規模の縮小も相次いでいます。

道医労連は「介護報酬引き上げの再改定」を求めて、個人・団体署名、各自治体に対して国への意見書提出の陳情を進めています。同会としても取り組むことにしています。



道医労連は「介護報酬引き上げの再改定」を求めて、個人・団体署名、各自治体に対して国への意見書提出の陳情を進めています。同会としても取り組むことにしています。

新年度からの介護改悪 被害広がる 制度改善と被害防ぐ取り組みを

主な改悪内容

- 4月から「要支援の地域支援事業移行」「特養入所制限（原則要介護3以上）」
- 8月から「2割負担 一定以上の所得の場合」「施設の低所得者軽減制度の改悪」「特養多床室の料金値上げ」

今年度は、介護報酬の引き下げや介護保険料の値上げの他に、4月から「要支援（訪問介護・通所介護）の地域支援事業移行（2年間の猶予あり）」などの改悪が行われました。道内では4月から3自治体が地域支援事業に移行しています。同会では実施自治体との懇談を予定しています。

また、8月からも改悪されます。特に、施設（特養・老健・介護療養病床、ショートステイ）の低所得者の食費や部屋代の軽減制度（補足給付）の条件を狭められます。世帯分離している配偶者が非課税者でない場合は給付の対象が外されます。月額3万円以上の負担増になる方もいて、不安の声が寄せられています。

安倍政権はさらに改悪を準備しています。制度の改善とともに、障害者控除の活用などによる住民税の軽減（非課税）や高額介護サービス費なども活用し、改悪の被害を防ぐ取り組みを広げましょう。

安倍政権はさらに改悪を準備しています。制度の改善とともに、障害者控除の活用などによる住民税の軽減（非課税）や高額介護サービス費なども活用し、改悪の被害を防ぐ取り組みを広げましょう。

十勝勤医協では、改悪された介護保険制度の影響調査も行っています。

国立機構 八雲病院の廃止を発表 不安や存続求める声広がる

国立病院機構は、1日、八雲病院を廃止すると発表しました。患者・家族、働く職員、町民から不安と存続を求める声広がっています。

機構は、八雲病院の医療機能を札幌と函館に分散させると説明しています。また、「患者団体から、札幌における機能の充実を求められてきた」ことも移転理由に挙げています。

しかし、患者や家族の中には、「八雲で療養したい」という方もいます。本来、どこに住んでいても、必要な医療が保障されなければなりません。

全日本国立病院労働組合は声明で「札幌において筋ジストロフィー等にかかる病床・研究機関等を新設するとともに、現在の八雲病院の存続・充実・強化」が必要と訴えています。

八雲病院の紹介（HPより）

北海道随一の小児期発症の神経筋疾患専門マネジメントセンターです。入院病床は240床で、筋ジストロフィー120床、重症心身障害児（者）120床です。家族と同居で過ごせるホームケア室があり、北海道全域から来られる入院患者家族や外来患者のための町運営の“いこいの家”も病院の隣にあります。

患者さんが病気療養をしながら学校教育を受けられるように、隣に八雲養護学校（道内最大の病弱養護教育学校、小・中・高等部併設）があります。